

## 水槽付き消防ポンプ救助工作車を奥出雲消防署に配備

奥出雲消防署の水槽付き消防ポンプ車（タンク車）と救助工作車の更新に伴い、新しくそれぞれの機能を兼ね備えた、水槽付き消防ポンプ救助工作車を配備し、4月から運用を開始しました。



この水槽付き消防ポンプ救助工作車は火災現場や交通事故等の災害現場に対応し、最新の泡消火装置や救助資機材等を積載しています。今後、複雑多様化する各種災害に偉力を発揮します。



## 風水害から身を守る！

日本では、毎年のように台風や大雨による被害が発生しています。台風や豪雨は襲来時期や規模をある程度予測することができます。日頃から気象情報に関心を持ち、家の周辺の安全チェックをしておきましょう。

### 平常時から家の周辺をチェック



これはキケン！

風雨が強まる中での以下の行為は危険です。絶対にやめましょう。

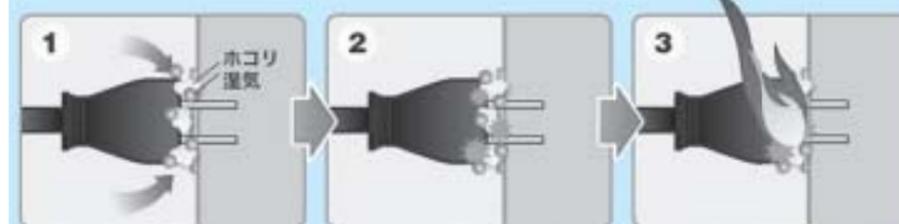
- ・屋根に上って補強する
- ・自宅周辺や田畑の状況を見回しする
- ・様子を見るために川や堤に近づく

## 梅雨時期における火災予防



冷蔵庫やテレビ、洗濯機等のように、1年中差し込んだままのコンセントにはホコリやゴミ等が溜まります。湿気が多いと、ホコリやゴミが水分を含み通電しやすくなり、ショートしてトラッキング現象を引き起こし、火災の原因となることがあります。

### トラッキング現象とは？



1 コンセントとプラグの間にホコリが溜り、溜まったホコリに湿気が付着。

2 付着したホコリと湿気によって、プラグの両極間で火花放電が繰り返し発生。プラグの両極間の絶縁状態が徐々に悪くなる。

3 絶縁状態が悪くなり、電気が流れることにより生じた抵抗で発熱し、ついに発火。（トラッキング現象）

### トラッキング現象防止のポイント

- ・梅雨時期は特に湿度が高くなりますので、コンセント周りを掃除し、プラグを奥までしっかり差し込みましょう。（タコ足配線をしている場所は特にプラグが緩みやすく、トラッキング現象による火災の危険が高まります。）
- ・長期間使用しない時は、コンセントプラグを抜きましょう。
- ・トラッキング防止器具を活用しましょう。



トラッキング防止器具

## 熱中症対策は万全ですか

～知っておこう 熱中症の予防～

熱中症で救急搬送された方が全国で毎年7000人を超え、雲南消防本部管内でも昨年29人の方が搬送されました。また、真夏に限らず5月ごろから熱中症が発生しています。

### 熱中症の予防

- ①睡眠不足や風邪ぎみ等、体調の悪いときは外出や運動を控えましょう。
- ②通気性のよい服を着て、外出の際は帽子や日傘を用いましょう。
- ③定期的に少しずつ水分を補給しましょう。汗は水分と一緒に塩分も失われることもお忘れなく。
- ④発育途中の子どもや体力が衰えはじめた高齢者は熱中症になりやすいです。

**症状が改善されなければ医療機関を受診するか救急車を要請しましょう！！**



### ◎水分補給のポイント

水分だけをとっても、吸収のスピードが良くないため、塩分を一緒にとることで、吸収のスピードが早くなり、回復が早くなります。塩分をほとんど含まない水やお茶よりも、塩分を含むスポーツドリンク等が効果的です。